

# 一般質問



平間奈緒美 議員

**Q** 柴田町に観光大使の設置を

**A** 観光環境を整備した後、設置を考えていく



桜まつりに彩りをそえるよさこいの舞(柴田よさこい美翔連)

**問** 観光の課題は。

**町長** 課題は次の4つ。①観光地としての知名度が低いこと。②案内看板やベンチなどの休憩施設、バリアフリーな園路の整備の充実。③食料店やお土産品の充実。④町単独ではなく、仙南地域全体での広域観光モデルコースの開発。

**問** 食事のできる場所が少ないことへの改善策は。

**商工観光課長** 観光物産協会で「しばた食べ歩きマップ

プ」を作成した。年間を通じて、飲食店、お土産品店を紹介できるようなマップになっている。

**問** 船岡城址公園の付近前の通りに出店を出すという考えはないのか。

**商工観光課長** 桜まつりの混雑期は、歩行者と車が交差する中で危険が伴うこともあり、今のところ計画はない。

**問** 柴田町の魅力を広く全国に発信し、さまざまなイベントで活躍が期待できる花のまち柴田

を

の観光大使を設置してはどうか。

**町長** 観光の基礎的な条件整備に全力で取り組み、環境を整備した後、観光大使の設置を考えた。

**問** 「はなみちゃん」の活用は。

**町長** 新たなグッズを制作し販売する予定。さらに、各種イベントで積極的に貸し出していく。

朝日新聞に次の記事が掲載されていた。「水道管の水漏れなどで水道水が無駄になる割合、無効率が20%超と極めて高い水道事業者が、全事業体の16割にあたる236に上り、老朽化した水道管の更新が追いついていないことがわかった。地方を中心に人口減によって料金収入が減り、予算不足で更新費用を捻出できずにいる背景がある。専門家は「このままでは手遅れになると言っている。」

そこで質問する。

**問** 町の無効率は。

**町長** 26年度は11・69%で、仙南2市7町で5番目である。

**問** 産業建設常任委員会の調査で、水道管の取り替え工事現場を視察した。水道管の耐用年数を考えて地域を決めているとのことだが、朝日新聞の記事では、予算不足のため、漏水の本格的調査の先送りや修繕に追われ、計画的な更新が進ま

ない所もあった。柴田町ではどうか。

**町長** 21年度から10カ年の布設替え計画を実施し、今後も計画的に老朽管の更新に取り組んでいく。

**問** 今後の水道利用の見込みは。

**町長** 節水意識の高まりなど、1人当たりの使用量が減少している。今後の人口減少を考えると、本町の水道使用量も減少傾向が続くものと予想している。

**Q** 水道管の漏水対策を着実に

**A** 今後も計画的に老朽管の更新に取り組む



舟山 彰 議員



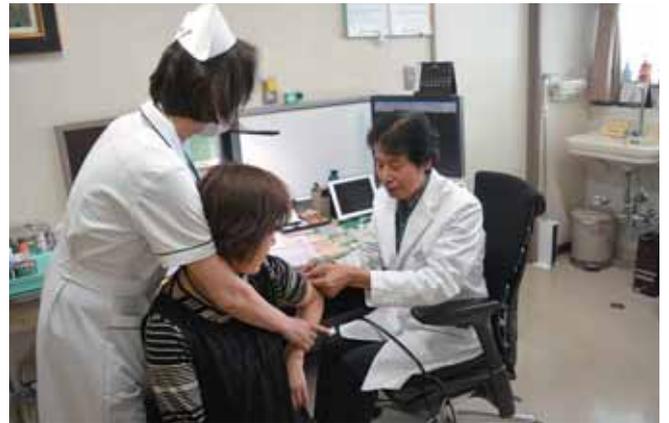
槻木下町の漏水修理



吉田和夫 議員

**Q** 未接種者への助成を

**A** 助成は経過を見定め、実施を検討する



高齢者肺炎球菌ワクチンの接種が始まる

**問** 定期接種になった高齢者肺炎球菌ワクチンの接種の現状は。

**町長** 本町の27年度の接種状況は、対象者1千788人に対し、28年1月末現在の接種者は653人、接種率は36・5割である。

**問** 高齢者肺炎球菌ワクチン接種を逃せば、任意接種しかない。任意接種に助成をしては。

**町長** 町のお知らせ版やチラシなどで周知を図っている。また、未接種の高齢者に対しては、12月のお知らせ版や町

**町長** 高齢者の任意接種の助成は、医療機関での混乱が懸念されることから、30年までの経過を見定め、その後に実施を

**問** 子育て支援として、風疹対策をホームページに掲載するべきでは。

**健康推進課長** 風疹抗体価の検査を県費で実施し、その後は町内の医療機関10カ所で行うというところをホームページに掲載する。また、町内の医療機関にもポスターなどで協力をお願いしていく。

**問** 自分の控除額の上限の算出方法の問い合わせに、どう対応しているか。

**まちづくり政策課長** 町のホームページに計算方法を掲載しており、早見表も今後、掲載を検討する。

**問** 柴田町への納税額が急増した一方で、他町村への流出が懸念されるが。

**町長** ふるさと納税の制度設計からも、納税者の意思に委ねられ、町として制限はできない。今

後、寄附いただいた方々といろいろな接点を持ち、継続的に町の情報を提供する。本町への関心を深め、来訪を促していく。特産品についても、さらに魅力あるものにしていきたい。

**問** 寄附金の使い方の公表は。

**まちづくり政策課長** 実績報告として、28年度以降のホームページの中に追加する。  
**問** ポイント制度を導入してはどうか。

**まちづくり政策課長** ふるさと納税のポイント制度が、一つの魅力ということは承知している。町は導入の方向で検討している。

**問** 今後、自治体間の競争が激化すると想定されるが、対応は。

**町長** ふるさと納税に係る周知、募集などについて、寄附金控除の趣旨を踏まえつつ、税收確保の観点から拡充したい。  
※ポイント制度 返礼品のかわりにポイントがつき、まとめて特典を得られる制度

**Q** 今後、ふるさと納税にどう対応するのか



斎藤義勝 議員

**A** 趣旨を踏まえつつ、税收確保の観点から、拡充したい



人気の返礼品「牛タン」



水戸義裕 議員

Q 企業誘致の現状は

A 震災後4社が進出、1社が建設予定



情報収集と雇用支援の役割を果たすハローワーク

**問** 雇用問題は深刻さを脱していない状況であるが、柴田町の企業誘致の現状と活動は。

**町長** 企業立地促進奨励金制度や民間投資促進特区の優遇策をPRしながら、企業誘致を進めるとともに情報収集を行っている。震災後は4社が進出、建設予定が1社である。誘致が雇用の促進につながるが、現在空き工場用地がない。誘致企業の撤退があると、雇用対策が大きな問題となる。

**問** 企業立地促進奨励金のこれまでの額は。

**商工観光課長** 制度ができてから、6社に総額5億4千万円の奨励金を支払った。

**問** 最近、村田町の企業が入社したとの報道があった。柴田町の雇用の創出と支援の内容など、具体的な支援策は。

**町長** ハローワークからの情報収集、仙南地域職業訓練センターの離職者等再就職訓練の案内や関係機関と連携しながら支援を行う。さらに、具

体的な支援として、観光事業推進で雇用創出、起業支援・事業支援など、新たな仕事づくりと雇用の創出を目指したい。

**問** 誘致してから、企業と町の交流など、接点はどのようにしているのか。

**商工観光課長** 誘致した企業とは、担当と課長が訪問して、会社の状況の確認など、種々の打ち合わせをしている。町には、町内工場等連絡協議会があり、そちらからも情報を集めたい。

**問** 仙台市や複数の自治体では、ヘルプカードを配布している。カードには「あなたの支援が必要です」と記載され、中には、かかりつけ医や緊急連絡先などの記入欄がある。そのヘルプカードなどをに入れて携帯するパスケースが作られた。自治体として障がい者が不安なく生活できるように柴田町でも、ヘルプカードやパスケースを作成し周知を図るべきでは。

**町長** 関係団体と意見交換を行い、カード作成に着手する。完成の折に、広報紙などで周知する。

**問** 作成に当たり、どのような方々から意見をいただくのか。

**福祉課長** 町の身体障害者福祉協会ははじめ14団体から意見を聞く。

**問** 意見交換の実施は、いつか。

**福祉課長** 夏には実施したい。どのように情報を発信していくのか。

**福祉課長** 町の広報紙で周知を図り、ホームページ、駅や大型スーパーへの掲示、民生委員や行政区長などを通して、カード普及、啓発をしていきたい。

**問** 災害時の障がい者の受け入れ団体や事業所の数は。また、どのようにに協定しているのか。

**福祉課長** 町は福祉避難所として6団体9施設と協定し、災害時に開設する。その場合の物件費、物資の経費などは、町が負担する。

Q 障がい者支援のためヘルプカードの作成を

A カードの作成に着手し、広報紙などで周知する



佐々木裕子 議員



仙台市で活用されているヘルプカードとパスケース



安部俊三 議員

**Q** メタボ対策を  
いっそう推進し、  
医療費の抑制を

**A** 健康診査を勧め、  
未受診者対策に力を入れる



仙台大学との連携による生活習慣病予防教室（写真提供：仙台大学）

**問** 柴田町の医療費は、増加しているのか。

**町長** 国保の26年度医療費は、34億1千482万円となり、前年比8千929万円の増で、2.7割伸びている。65歳から74歳の分が18億5千770万円で、4.3割の増となり、医療費増額の大半を占めている。高齢化が進み、医療の高度化も伴い、医療費は増加傾向にある。

**問** 柴田町での肥満度を示す※BMI25以上の人の割合を把握しているか。

**町長** 26年度国保特定健康診査の結果、受診者2千416人中、BMI25割以上は、男性301人で28.7割、女性295人21.6割、全体では596人で24.7割となっている。

**問** どのようなメタボ対策を推進しているか。また、今後の進展策は。

**町長** 特定健康診査でメタボに該当した人に対し、特定保健指導や栄養教室などを実施している。今後は、町民のメタボ該当者や予備群を減らすため、早期に保健指導が実施できるように、健康診査

受診を勧めるなど、未受診者対策に力を入れる。

**問** 肥満傾向児を減らすため、幼稚園・小学校で、こういった指導を行っているのか。

**町長** 肥満は、生活習慣病などを招く危険がある。学校教育全体を通して、子どもたちに自分の身体に関心を持たせ、規則正しい生活習慣の定着を目指す指導を続ける。

※BMI 肥満の判定に使われ、体重を身長<sup>2</sup>で割り、18.5以上25未満が普通で25以上は肥満。

子どもたちのメディア・ネット依存を防止するため、次のとおり提案する。

**問** 0歳から18歳までのメディア接触時間を調査する考えは。

**教育長** 実態調査を行い現状把握と課題を明確にすることは大切である。次年度は小中学校で調査を実施し、未就学児は保護者に協力いただき、現状と課題の把握に努める。

**問** 子どもに関わる人たちが、メディア依存の問題点や危険性を学ぶ機会を設ける。

**教育長** ノーテレビ・ノーゲームデーを継続しながら、専門家を交えた研修会開催を検討する。

だうえで、依存防止の共通認識を持つべきでは。

**教育長** 次年度は教育委員会と校長会、父母教師連絡協議会が連携し、家庭のルール作り運動を推進し、過度のメディア依存防止に取り組んでいく。

**問** 専門家を交えて、メディア対策に取り組む実施体制にすべきでは。

**教育長** 子どもも教員が学ぶ機会を設けるよう協力を求める。学校と家庭、地域が一体となってネット依存防止に努めていく。

ぶ機会をつくるべきでは

**教育長** 母子手帳交付時にチラシを使い、注意を呼びかけている。

**問** 心身への悪影響を子どもたちが理解できるように、小児科医の話しを聴く機会を設けては。

**教育長** 子どもや教員が学ぶ機会を設けるよう協力を求める。学校と家庭、地域が一体となってネット依存防止に努めていく。

**Q** 子どものメディア・ネット依存の防止を



白内恵美子 議員

**A** 学校と家庭、地域が一体となり防止に努める



母子手帳交付時に配布する  
チラシ



秋本好則 議員

**Q** 観光政策に新しい施策を

**A** 町なかに人を呼び込むよう、商工会が動いている



桜満開時交通渋滞する町なか

**問** 観光カリスマの山田桂一郎氏は、入り込み数を偏重しても無意味で、すぐに立ち去る観光客の数を競っても町は潤わないと話しているが、宿泊数にもぎわいの指標にしたい。

**問** 経営分析にSWOT分析がある。内外環境を弱さ・強さ・機会・脅威で分析する手法だが、新しい観光開発手法では、調査はしてない。

**問** 藤新平の関東大震災後の復興計画のストーリーを桜に結び付けたりどうか。

**問** 歴史の面白さも加えたい。側面支援する。毎日新聞に日本は異常に混む国という世評が出ている。人混みに慣れていない欧州諸国には、別の方針が必要との記事が出ていたが。

**町長** 混雑で魅力をなくすことはあるが、まだ先のことを考えている。祭りのあいだに、日数を区切り、町なかを車の通行止めにしたら

どうか。エコをテーマにしたイベントを行い、道にベンチを置き、交流広場を作るフリーマーケットをしたり、燃料電池車などのエコカーのデモンストレーションをすれば、人が集まり、地域が潤い、地域循環型の経済に貢献できると思うが。

**商工観光課長** 大きな提案である。町なかに人を呼び込む方策では、商工会が動いている。



桜場政行 議員

**Q** すべての行政区が防災訓練を実施する対策は

**A** 地域計画の改定時期に防災訓練の義務づけなどを検討する



日頃の訓練が大事 (12B 行政区)

**問** 42行政区で自主防災組織が結成されているが、防災訓練を実施していない行政区はあるのか。

**危機管理監** 27年度で、6行政区が防災訓練を実施していない。

**問** 訓練が実施されていない区の、できない理由や課題を把握しているのか。

**危機管理監** 出前講座の利用や、社会福祉協議会の研修会に出て、自主防災を充実していただきたいと話したが、各組織がうまく

機能しなかった。

**問** もし、柴田町に大災害が発生し、甚大な被害が出た場合、町は住民に避難誘導や高齢者、障がい者を避難場所に避難させるなど、どれだけのサポートができるか。

**危機管理監** 被害の調査やその後の対応で手が回らない。自主防災は自助、共助が必要で、普段からの訓練が大切と考える。

**問** 42行政区が大事な防災訓練を実施する対策は。

**まちづくり政策課長** 地域計画の改正時期に自主防災の訓練の義務づけや弱者の範囲の基準など、地域計画の中で今後検討する。

**問** 局地冠水対策マニユアルの作成時に、柴田町の水害の歴史などを含めた住民懇談会を開催すると聞いていたが。

**町長** 地区の方々から話も聞ける住民懇談会は大変重要であり、4力所で開催する。



広沢 真 議員

**Q** 低所得者負担軽減の負担金で国保税の引き下げを

**A** 医療費の伸びが大きくむずかしい



相談に応じる国民健康保険の窓口

**問** 国民健康保険で、27年度から低所得者負担軽減のための上乗せ負担金が交付されている。その上乗せ分を活用し、国民健康保険税を引き下げることができないのではないかと考える。町の考えを問う。

**健康推進課長** 上乗せ負担金の積算根拠は、法定減免の7割軽減を受けている世帯数をもとに、計算されている。上乗せされている金額は、

**健康推進課長** 4千900万円である。

**問** 厚生労働省の説明では、一世帯当たり5千円の軽減が可能としている。柴田町でもできるのではないか。

**健康推進課長** 医療費の伸びが大きく、上乗せ分の負担金も活用して、医療費の支払いに充ててししているのが現状である。

**問** 国保特別会計で累積赤字はあるのか。

**健康推進課長** 一般会計からの補填はしていないので、累積赤字はない。

**健康推進課長** 今後の予測として、赤字転落はあるのか。

**健康推進課長** 12月の医療費が2億8千万円となり、財政調整基金3億5千万円でも十分ではない。少なくとも30年度までは赤字にせず、このままでいきたいと考えている。

**問** 悪循環を抜け出す施策が必要では。

**健康推進課長** 医療費を抑え、値上げはしないようにしたい。



有賀光子 議員

**Q** 初期集中支援チームの取り組みを

**A** 30年度から活動できるよう進めていく



たまにはみんなでお茶のみを！（柴田町地域包括支援センター）

国の28年度予算案には、認知症施策推進総合戦略、新オレンジプランに基づいて、認知症の人や家族などをきめ細かく支える施策が盛り込まれた。

**問** 柴田町の初期集中支援チームの取り組みは。

**町長** 初期の段階で認知症と思われる人やその家族を訪問し、サポートを行うものである。

基本的には、認知症サポート医を中心に、訪問による聞き取り調査を行う。その結果から、医療への連携と、居宅生活における介護支援などを検討する。

**問** そのうえで、地域のかかりつけ医と地域包括支援センター、または介護支援専門員に引き継ぐものとなる。

**町長** 本町として、30年度から活動できるよう、準備を進めていく。

**問** 認知症地域支援推進員の配置は。

**町長** 認知症施策の企画調整を行う役割や、医療機関、介護サービス事業所につなぐコーディネートとしての役割がある。町では、4人配置している。

# 一般質問



我妻弘国 議員

## Q 船岡城址公園内の喫煙は

## A 分煙の措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請



分煙にご協力を！ 船岡城址公園

**問** 町内で、電子タバコの購入は可能か。

**町長** コンビニで購入できない。

**問** たばこ税のからからい、煙が少なく蒸気が出るだけの喫煙を認める自治体も出てきている。

**町長** 柴田町の公共施設での喫煙をどのように考えるか。

**町長** 電子タバコを吸う動作から、喫煙しているように誤解を生じることが予想される。従来のたばこと同様に扱うことが望ましい。

**問** 新型たばこは、葉たばこを原料としているが、煙が出ないといわれている。公共施設内禁煙をどうするか。

**町長** 吐き出される呼気に、ニコチンが含まれることから、従来のたばこ同様、敷地内禁煙の対象になる。

**問** 厚生労働省は、今年度から、ニコチン依存症の禁煙治療に、喫煙年齢が短くても保険での治療可能と公表している。町の指導は。

**町長** 厚生労働省は、今年度から、ニコチン依存症の禁煙治療に、喫煙年齢が短くても保険での治療可能と公表している。町の指導は。

**町長** 28年度から、34歳以下は、※喫煙指数に關係なく対象となるため、禁煙治療が受けやすくなった。

**問** 船岡城址公園や太陽の村での喫煙はどうなるのか。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

**町長** 受動喫煙の観点から、分煙の徹底措置を講ずるよう、指定管理者に協力を要請する。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 平間奈緒美 議員

- 問** 薬物乱用防止のための青少年に対する予防教育が重要である。町の取り組みは。
- 答** 県の薬物乱用防止教育を活用して、小中学生の薬物乱用防止教育に取り組んでいる。

### 舟山彰 議員

- 問** 並松の町道船岡32号線に平行する用水路問題の根本的解決策はいかに。
- 答** 下流部が高いため、水が滞留している。土地改良区と協議し、改善を依頼していく。
- 問** 柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果は。
- 答** 子育て環境、都市基盤の整備に重点を置いて、若い世代の生活空間の整備を優先する。

### 吉田和夫 議員

- 問** オリジナルの婚姻届・出生届で、柴田町をアピールできないか。
- 答** 全国の多くの方々から利用されるように作成する。

### 佐々木裕子 議員

- 問** 桜まつりと全国さくらサミット開催時に向けた今後の取り組みは。
- 答** 植栽会やモニターツアー、SNSで情報発信、歴史資源活用、バリアフリーや道の整備を行う。

### 白内恵美子 議員

- 問** 地域型保育事業への連携保育所による代替保育の提供や、修了後の受け皿の確保を。
- 答** 代替保育は、船岡保育所が保育士を派遣する。修了後は、保育所入所判定に2点加点する。

- 問** 放課後児童クラブに非常勤職員・常勤職員1人を配置するための、国の上乗せ補助の活用は。
- 答** 平成27年度は活用していないが、処遇改善加算の対象であれば、今後活用したい。

### 広沢真 議員

- 問** 生活保護の冬季加算が削減されている。町の独自施策で低所得者支援ができないか。
- 答** 予算的には厳しい。今後の灯油価格なども参照しながら検討したい。

### 有賀光子 議員

- 問** 子育て支援新制度に伴い、放課後児童クラブの対象児童が拡大するが、利用状況は。
- 答** 児童館や小学校の教室を利用して開設している。30年度までに対象児童を6年生まで拡大する。

### 我妻弘国 議員

- 問** 電子機器教育で、不公平な修得が危惧される。小中学校のICT教育の方針は。
- 答** 児童生徒間、教師間、学校間で格差の出ないように整備し、効果的な授業を進めたい。
- 問** 宮城県は障害者雇用率が全国最低と、テレビで紹介された。町の取り組みは。
- 答** 市町村ごとの雇用率の公表はない。太陽の村へのピザと牛タン料理店開設を支援したい。
- 問** 太陽の村に、ふわふわドームが計画されたが、整備が遅れている。どのようになったのか。
- 答** 地方創生上乗せ交付金事業として、改めて施設全体の検証をした。8月に完成予定である。

# 議会懇談会・公開議員研修会を開催します

お問い合わせ先 柴田町議会事務局 ☎55-2136

議会では、議会の活動を町民の方々に報告するとともに、議会や町政に対する意見・要望などを直接聞かせていただくために、「議会懇談会」を開催いたします。

当日は、次の内容で行います。多数のご参加をお待ちしております。

- (1) 平成27年議会懇談会での要望事項等の報告
- (2) 平成27年度議会活動報告
- (3) 懇談1「子育て・子育てについて語ろう!!」
- (4) 懇談2 町政・議会全般について

＝開催日時、会場などは、次のとおりです＝

各会場とも、同じ会場で日中の部と夜間の部の2回実施しますので、参加しやすい時間帯にご参加ください。

開催日時	会場	対象行政区
6月14日(火) 日中の部 10:00～11:45 夜間の部 19:00～20:45	槻木生涯学習センター (3階会議室)	13.14.15.16.17A.17B. 18A.18B.19.20.21.22. 23.24.25.26.27
	船岡公民館 (2階会議室)	1.2.3.4.5.6A.6B.7A.7B.8. 9A.9B.11A.11B.11C.11D. 12A.12B.30
	船迫生涯学習センター (2階会議室)	10.28.29A. 29B.29C.29D

無料託児所を開設します。希望される方は、6月10日(金)までに議会事務局にお申し込みください。

## 議会懇談会

6月14日(火)開催

日中の部 10:00～11:45

夜間の部 19:00～20:45



「子育て」とは、大人の視点から捉えたものであるのに対して、「子育て」とは、子どもの視点から捉えたもので、子ども自身が自らの力で心身ともに成長することを言います。  
そのためには、親だけでなく地域ぐるみで支援していくことが大切です。

## 第1回公開議員研修会

5月18日(水)開催

研修  
テーマ

### 【子どもは地域の宝】

～親子が元気になる家庭教育・  
子育て支援を考える～



講師：伊藤 誠氏

学校法人柴田学園  
たんぼ幼稚園・第二たんぼ幼稚園園長

- と き：平成28年5月18日(水)  
14:00～15:30
- と ころ：槻木生涯学習センター3階会議室
- 参加費：無 料

無料託児所を開設します。希望される方は5月13日(金)までに議会事務局にお申し込みください。(先着5人まで)

## 第2回公開議員研修会

6月17日(金)開催

研修  
テーマ

### 第1部 講演 【対話で創る 議会からの地方創生】

### 第2部 演習 【ワールドカフェ形式の対話を体験しよう】

講師：佐藤 淳氏

あつし  
青森中央学院大学経営法学部准教授  
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員



- と き：平成28年6月17日(金)  
13:30～16:30
- と ころ：槻木生涯学習センター3階会議室
- 参加費：無 料

ワールドカフェとは、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

# 「追跡」あれはどうなった？

柴田町議会では、議会及び議員活動の活性化のために、必要な議会運営の基本事項を定めた「柴田町議会基本条例」を平成24年12月会議で全会一致で可決し、平成25年4月1日から施行しました。

今回は、この「柴田町議会基本条例」制定後の運用状況の検証と、今後の課題について追跡します。

## 議会基本条例とは？

《前文引用＝町民に信頼され存在感のある議会を築くため、町の最高規範である「まちづくり基本条例」にしたがい、町民と協同し、真の地方自治を実現することを決意し、この条例を定める。》

条文は、全10章27条で構成されており、町民生活の向上と町政発展に寄与することを目的としています。

## 条例の運用状況の検証

基本条例では、「町民の意見、社会情勢の変化等を勘案し2年ごとに条例の目的が達成されているかを議会運営委員会において検証する。」とあり、平成27年度の議会運営委員会において条例制定後初めての検証を行いました。

検証の方法としては、「基本条例チェックシート」を作成し、各々の条文ごとに「実施状況・実績・評価・課題」について確認をしていきました。

評価については、条例に沿って達成されたか否か、どこまで達成されたかを「(A)達成された(7割以上)」、「(B)一部達成された(5割程度)」、「(C)今後努力を要する(3割未満)」、「-」評価に該当しないの4つに分類し、議会運営委員がそれぞれの評価を持ち寄り検討しました。

### 議会運営委員会による「柴田町議会基本条例」の検証・見直し作業の経過

日付	内容
4月28日	基本条例の規定に基づき、27年度中に検証、見直しを行う。
5月19日	検証方法についての先進地「北海道登別市・福島町」視察を決定。
6月9日	登別市を参考にした柴田町版チェックシートの検討。
6月22日	先進地視察先の事前勉強会及び視察先の事前質問について協議。
7月14日～7月16日	先進地「北海道登別市議会・福島町議会」を視察。
8月19日	先進地視察結果を踏まえ、チェックシートのたたき台を作成。作業方針の決定。
9月1日	今後の検証作業の進め方を確認。
11月20日	チェックシート及び行動計画について検討。
12月1日	チェックシート内容について委員間で協議。
12月8日	次回までに評価欄について各自評価。
12月18日	各委員の評価の集計をもとに議論し、評価を決定。
平成28年1月15日	チェックシート内容及び行動計画の内容を協議し、検証の最終まとめ。
1月25日	議員全員協議会へ検証結果及び行動計画の内容を報告。
3月30日	柴田町議会ホームページにチェックシートと行動計画を掲載。

議会基本条例・検証チェックシート・行動計画  
詳しい内容は「柴田町議会」ホームページからも確認いただけますのでご利用ください。



議会基本条例

## 「柴田町議会基本条例」チェックシート（平成25年～26年度）

<一部抜粋>

A：達成された（7割以上） B：一部達成された（5割程度） C：今後努力を要する（3割未満） -：評価に該当しない

第2章 議会及び議員の活動原則	実施状況	実績	評価	課題
第2条 (議会の活動原則)	<input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施継続 <input type="checkbox"/> 未実施	(監視) 常任委員会所管事務調査、一般質問 (検証) 議会だより (追跡記事) (評価) 実績なし	B	必要に応じて過去の一般質問の追跡検証、評価をする仕組みの確立
第27条 (見直し手続き)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施継続 <input type="checkbox"/> 未実施	27年度へ先送り (平成27年度にて検証実施)	B	評価実施時期の検討 チェックシートの内容の検討 行動計画書の作成

※ 全52項目を評価検証：A評価16項目（30.8%） B評価20項目（38.5%） C評価5項目（9.6%） -評価11項目（21.1%）

議会基本条例チェックシートでの検証結果を踏まえ「情報公開のさらなる充実」、「各常任委員会活動の充実」など7項目を取り上げ、行動計画として、今年度まで取り組んでいきます。

議会としては、条例の検証結果を真摯に受け止め、議会のさらなるレベルアップを図ってまいります。

## 検証からの取り組み



検証についての視察研修（平成27年7月 北海道福島町にて）

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
各課の仕事を  
調査しています。

## 総務 常任委員会

1月28日(木)～1月29日(金)



地域おこし協力隊員を招いて（槻木事務所）

### 調査内容

- 会計事務処理 ● ごみ減量の取り組み
- マイナンバー法施行後の窓口対応 ● 槻木事務所の窓口対応
- 柴田町地域おこし協力隊の活動状況

### 調査結果

《会計課》適正かつ迅速な事務処理に向け、平成27年10月に作成した「会計事務の手引き」を大いに有効活用すること。

《町民環境課》ごみの排出量と処理費用を随時公表と、ごみ減量の数値目標を掲げ、住民へ情報を「見える化」し、ごみ減量の意識高揚に努めること。生ごみは水切りを徹底するなど啓発に努めること。

《町民環境課》個人番号カードの送付が開始されたが、制度に対して戸惑いや不安を持つ住民に対しては、今後も分かりやすく丁寧な説明に努めること。

《槻木事務所》事務所の施設は、雨漏りなど著しい老朽化が見られるので対処すること。

《まちづくり政策課》協力隊員が地域で円滑に活動できるよう、今後も支援を継続すること。

※総務常任委員会では公共施設等総合管理計画について提言書を取りまとめ、議長名で3月29日町長へ提出した。

## 文教厚生 常任委員会

1月26日(火)～1月27日(水)

### 調査内容

- 町内生涯学習センター、しばたの郷土館及び図書館の管理及び利用状況
- 柴田町地域包括支援センターの現状と今後の展望と課題
- 柴田・角田地域訪問看護ステーションの運営および利用状況
- 障がい児支援施設の運営及び利用状況
- 町が設置管理する公共施設の敷地内禁煙事業

### 調査結果

《生涯学習課》各生涯学習センターで実施している事業は、よく企画され参加率も高いが、男性の参加率が低い。今後は男性が参加しやすい事業も企画されたい。

槻木生涯学習センターの図書室は、町図書館の分室となることから、図書館と連携した環境整備に努め、機能を十分に発揮すること。

農村環境改善センターは、他の地区館と比べて施設の環境整備がされていないので、非常勤職員の分掌事項に、「施設の維持管理・環境整備」を明記すること。

《福祉課》地域で暮らす高齢者の増加で、地域包括支援センターでの保健福祉・医療など、さまざまな相談が増えてきている。町として支援を強化すること。



生涯学習センター事業について（船岡生涯学習センター）

## 産業建設 常任委員会

1月13日(水)～1月14日(木)



太陽の村視察

### 調査内容

- 船岡平和観音の修復工事 ● 船岡城址公園園路の整備状況
- しばた千桜橋のスロープ設置状況及び桜の小径整備工事
- 柴田町公共下水道事業新栄污水枝線その3工事の進捗状況
- 船岡若葉町地区配水管布設替工事の進捗状況
- 太陽の村の整備状況（ふわふわドーム、休館日のトイレの使用）
- 今年度の各課の重点施策の進捗状況

### 調査結果

《商工観光課・都市建設課》今年のしばた桜まつりは、昨年以上に多く観光客が訪れ、トイレ不足も予想されることから、歩道法面下の平場に仮設トイレを設置されたい。また、将来は、常設トイレの設置についても検討されたい。

《上下水道課》配水管については、計画的に老朽管の布設替工事が進められている。今後もさらに着実に進められたい。

《農政課》太陽の村の整備を進めるに当たっては、利用者の利便性を考慮してトイレを設置するとともに、休館日でもトイレを使用できるように、案内看板を設置し周知に努めること。また、旧館北側法面は、芝滑り・ソリ滑りゾーンとして活用が予定されているが、側溝があり危険なので、緩衝帯を設置するなど安全策を講じること。

# あなたの一言



たかはし しょうこ 高橋 祥子さん  
(船岡新栄 在住)

## ●柴田町に住んで感じたことは

柴田町に住んで27年になります。生活しやすく、この町に住んで良かったと感じています。その理由は、町の皆さんが温かく親切なことや一年を通して天候が穏やかなこと、自然豊かなところなどです。

## ●柴田町で好きなところは

花見の季節、さくら船岡大橋から見る白石川と両岸に続く桜、館山と蔵王の景色が好きです。しばた千桜橋ができ、ウォーキングで樫ノ木展望デッキに行くようになり、そこからの眺めも好きになりました。

## ●町に何を望みますか

河川敷や土手が町民の憩いの場として、健康増進に活用されるよう

整備を望みます。土手を通る車に危険を感じる場合があります。安全への配慮をお願いします。

## ●議会だよりを読んでいますか

町の現状や将来の展望を知ることができるので、興味深く読んでいます。カラフルな紙面で読みやすいのがいいですね。

## ●議会・議員に望むことは

すべての世代の声に耳を傾け、老若男女、健康で幸せに暮らせるよう尽力ください。

## ■議会から一言

今後とも、多くの町民の皆様の声に耳を傾け、活気にあふれた安全安心なまちづくりに努力していきます。

未来へ向けて

## 奨励賞受賞!

## 議会だより149号



第35回宮城県町村議会広報選考会に、しばた議会だより149号(平成27年8月1日号)を応募しました。その結果、平成28年2月16日の宮城県町村議会議長定期総会において、奨励賞を受賞しました。

今後とも、分かりやすい議会だよりとなるよう研鑽に努めてまいります。

## 編集後記

今号は、桜の花が満開の中での編集作業となりました。「議会だより」は発刊以来、町民の皆様のご協力・ご意見・ご助言をいただきながら38年を歩み続け、発行ごとに進化し、充実してきました。今後も広報クリニックを受けたり、研修会などに積極的に参加して研鑽しながら、可読性の高い紙面づくりをモットーに精進していきます。皆様には是非、ご一読いただき、ご意見やご要望をお寄せいただければ幸いです。

議会広報常任委員 斎藤 義勝

## ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

6月会議は

6月6日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

6月6日(月)・7日(火)・8日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

## 町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより152号は、約15,500部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。